

支配神と被支配神の全国分布図



黒字: 支配神

赤字: 被支配神

備考

現時点で明らかになった支配神と被支配神の地図を、代表的な神社のみ合わせてみた。詳しくは「古い神社の役割」をご覧ください。
封じている支配神は、太平洋沿岸の神社なのがわかる。支配している神社は大和族系。支配されているのは蝦夷・出雲系だと思われる。被支配地域をエリアごとに分けてみた。



もちろん日本全国が支配されているのだが、拠点的被支配エリアは下記となる。

- 1.戸来岳地域（青森）
 - 2.早池峰山地域（岩手）
 - 3.大朝日岳・月山地域（山形）
 - 4.諏訪湖・御嶽山・穂高地域（長野）
 - 5.元伊勢・冠島地域（京都丹後）
 - 6.伊勢・志摩（三重）
 - 7.出雲地域（島根）

きっと、九州宮崎や四国、関東あたりにも拠点エリアがあるのだと思う。縄文時代、人々は太陽神と大地（水・月）神の加護の元、神と一体となって暮らし、争いや環境破壊を嫌った。そんな原日本人を少数の大和族がやってきて嘘と武力で制圧し、縄文聖地を封印し、欲得と競争文化を植え付け善神と隔てさせ加護を得られなくし、自分たちの神を押し付けて支配した。縄文遺跡からは、戦いの道具は一切見つかっておらず、1万年も平和な時代が続いたといわれている。そんな私たちの先祖を支配するのは容易いことだったのではないか。そして現代においても、同じ血族たちに騙されて、働かされ、病気にさせられ、争わされる、マイノリティー支配が続いている。私たち原日本人は、娯楽を幸せの価値とすりかえられ騙されて生きているのだ。妄想はつきない。